

# 冬号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所

連絡先 〒963-8876 郡山市麓山 1-16-17

TEL 924-2194 FAX 924-2195

## 【みどりの教室】

日時：令和6年2月25日(日)10:00~12:00

場所：21世紀記念公園とんがりふれあい館ホール

定員：20名

内容：ミニ盆栽づくり

受講料：500円

募集期間：令和6年2月2日(金)9:00から  
令和6年2月11日(日)17:00まで

申込方法：電話又は窓口で受付

**定員を超えた場合は抽選となります。**

## 【みどり講習会】\*受講料無料、予約不要

場所：とんがりふれあい館ホール

対象：記念樹交付申請者及び希望者

日時：令和6年3月10日(日)10:00~12:00

内容：庭づくりのポイント

\*樹木医による園芸に関する講座です。

明けましておめでとうございます。例年ですと高揚感に満ち溢れた年始なのですが、元日早々の大災害に言葉がありません。東日本大震災を経験した私たちにとっては他人事ではありません。一日でも早く普段の生活が戻ることを願ってやみません。早く春が来て、緑そしてそこに咲く花を見て綺麗だと思える日常が被災者の皆さんに届くことを祈っています。

右の写真は紅葉したオタフクナンテンです。



## My ガーデニング

・・・季節のワンポイントアドバイス

### 【水やり】

この冬は今のところ雪は少なく雨が時々ありますので適度に土壌は湿っているようです。土も凍っていないので根まで水が届いているようです。ただし秋に植えた樹木や張った芝生は水分が必要ですので乾燥していると思われるときは暖かい日の午前中に水やりを行ってください。鉢植えの場合は乾燥しやすいので鉢の表面をよく観察して土が乾いているときにはしっかりと水をあげてください。多肉植物の多くはこの時期は水を控えて冬越しさせます。暖かい所を好む植物の場合は冷たい水をあげるのではなく少し温まった水をあげると根を傷めるリスクがさがります。いつの時も水やりは簡単そうで難しいですね。

### 【植替え】

常緑広葉樹、落葉樹、針葉樹すべてで厳寒期の植え替えは適していません。落葉樹は寒さが和らいだころ(2月中旬頃)から葉が開き始めるまでが適期となります。ただしカエデの仲間には既に適期は過ぎてしまっています。枯れてしまうというわけではないのですが切り口から樹液が流れ出て弱ってしまうことが多々あります。ザクロやサルスベリなどの芽が伸びだすのが遅い樹種は急がないほうが無難です。常緑広葉樹や針葉樹は彼岸過ぎから芽が伸び始めるまでが適期となります。植物にはそれぞれに適期ということがあります。ただ春先は多くの植物の植え替えに適しています。

**【肥料】**

これからの冬の寒い間に油粕などの緩効性有機質肥料をあげる時期となります。寒肥と呼ばれる作業です。発酵済みの場合はもう少し遅れても構いません。効果的なのは根元から少し離れたところを掘って埋めてあげるのが理想ですがかなわないときには上にばら撒いても大丈夫です。庭木の場合には寒肥をあげただけでも春からの生育に大きな違いが出ます。その樹木の大きさによって違いがありますが1本あたりコップ一杯ほどの量を目安にあげてください。

**【病害虫】**

病気は予防、害虫は早期の退治が基本です。一般家庭ではスプレータイプの薬剤散布がお勧めですね。



写真はサザンカに発生したカイガラムシです。その後には排せつ物によって葉が黒くなるすす病も発生してしまいます。アブラムシやカイガラムシは退治するのが厄介な害虫です。ただ冬季のみに使える薬剤がありますので（マシン油乳剤など）ブラシなどでこすり落とすことができないときには使用してみてください。



上の写真はウメノキゴケが着生したツツジです。これがつくと弱ってしまうといわれていますが、それは違います。

管理などが行き届かないのが原因です。そして生育が悪くなったところにウメノキゴケがついたということです。対策としてはまず第一には肥培管理を良くしてあげます。そしてウメノキゴケは水で濡らし軟らかくしてから歯ブラシなどでこすり取ってください。

**【剪定】**

この時期は落葉樹の剪定に適しています。だからといって切りすぎでは弱ってしまいますし観賞価値も下がってしまいます。雑木の庭が好まれますが自然に見えるように剪定することは非常に難しいですね。常緑広葉樹の剪定は暖かくなった4月頃まで待ったほうが無難です。マツ類は混みすぎた枝を整理してあげると綺麗になります。そして夏と違い木が弱ってしまうことも少ないです。

**【春を待つ樹木】** 銀色の毛皮を羽織ったハクレンの蕾**【この時期のハナカツミ】**

今は葉が枯れた状態です。鉢植えの場合は枯れた葉を根元から切って寒さの当たらない軒下などで冬越しさせます。葉がないからといっても水分は必要です。庭植えの場合は葉を残しておいて寒さ除けにしておいたほうが傷むことが少ないようです。春先には根元に増し土をしてあげるとよく根が張ってくれます。